

業務状況説明書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

富士見市下水道事業

1 令和4年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、540人(0.49%)の増加となっており、1日平均処理水量は541m³の減少、有収水量は、99,582m³の減少となっております。

区 分 \ 年 度	令和4年度 上半期	令和3年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口(人)	111,440	110,900	540	0.49
1日平均処理水量(m ³)	33,557	34,098	△541	△1.59
有 収 水 量(m ³)	5,287,732	5,387,314	△99,582	△1.85

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、人孔蓋取替工事(針ヶ谷地内)を実施しました。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、ポンプ2台の更新工事と、自家発電機の更新工事を実施しています。また、浸水対策基本計画策定業務委託(大字水子地内)を実施しています。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第16-1-1処理分区(大字下南畑地内外)の管渠築造工事を実施しました。また、畑下ポンプ場改修工事(大字鶴馬地内)を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,822,337	912,590	50.08	事業費	1,705,925	246,558	14.45
営業収益	1,367,420	813,220	59.47	営業費用	1,591,191	199,890	12.56
営業外収益	454,916	99,228	21.81	営業外費用	113,684	46,566	40.96
特別利益	1	142	14,196.50	特別損失	550	102	18.60
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,022,556	35,237	3.45	資本的支出	1,467,543	490,930	33.45
企業債	879,000	0	0.00	建設改良費	873,770	196,314	22.47
国庫(県)補助金	106,750	0	0.00	企業債償還金	592,773	294,616	49.70
負担金	36,806	35,237	95.74	予備費	1,000	0	0.00

2 令和3年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	令和3年度		令和2年度		比 較			
					増 減		比 率	
現在処理区域内人口(A)	111,211	人	110,635	人	576	人	100.52	%
行政区域内人口(B)	112,817	人	112,204	人	613	人	100.55	%
普及率(A)/(B)	98.58	%	98.60	%	△0.02	%	—	
水洗便所化人口(C)	110,233	人	109,612	人	621	人	100.57	%
水洗便所済戸数	56,239	戸	55,859	戸	380	戸	100.68	%
水洗化率(C)/(A)	99.12	%	99.08	%	0.04	%	—	
年間処理水量	12,332,107	m ³	13,128,612	m ³	△796,505	m ³	93.93	%
年間有収水量	10,715,179	m ³	10,704,479	m ³	10,700	m ³	100.10	%
1日平均処理水量	33,787	m ³	35,969	m ³	△2,182	m ³	93.93	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区(大字水子地内)を55.0m、江川第2処理分区(鶴瀬西2丁目地内)を80.5m、それぞれ単独事業として合計135.5mの管渠築造工事を実施しました。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区(大字上南畑地内外)を国庫補助事業として978.0m、新河岸16-1-1処理分区(大字下南畑地内)を国庫補助事業として1882.5m、単独事業として145.2m合計3,005.7mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、浸水被害軽減や施設の延命化等を目的に別所雨水ポンプ場の更新工事や耐水化計画の策定、柳瀬川第一排水区(大字水子地内外)の浸水対策基本計画策定業務委託等を進めてまいりました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

事業収益が 1,726,891,335 円(税込金額 1,822,243,960 円)で前年度対比 3.2%の減となり、事業費用では 1,449,908,790 円(税込金額 1,500,864,035 円)で前年度対比 2.3%の減となりました。この結果、276,982,545 円の純利益となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は 655,339,512 円(税込金額 655,634,022 円)で支出が 1,355,870,420 円(税込金額 1,419,157,732 円)となりました。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額 763,523,710 円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 30,621,394 円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 44,397,380 円、過年度分損益勘定留保資金 310,922,596 円、当年度分損益勘定留保資金 177,582,340 円及び減債積立金 200,000,000 円で補填しました。

ア 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,726,891,335	100.00	事業費	1,449,908,790	100.00
営業収益	1,256,318,142	72.75	営業費用	1,339,931,204	92.42
営業外収益	460,912,127	26.69	営業外費用	109,852,546	7.58
特別利益	9,661,066	0.56	特別損失	125,040	0.01

イ 資本的収入及び支出(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	655,634,022	100.00	資本的支出	1,419,157,732	100.00
企業債	433,200,000	66.07	建設改良費	764,047,675	53.84
国庫(県)補助金	159,150,000	24.27	企業債償還金	655,110,057	46.16
負担金	63,284,022	9.65			